

製品名: CDK9 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe01810**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.51mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 43 kDa; Observed MW: 43 kDa

抗原情報

遺伝子名	CDK9
別名	TAK; C-2k; CTK1; CDC2L4; PITALRE
遺伝子 ID	1025
SwissProt ID	P50750
免疫原	ヒト Cdk9 の合成ペプチド

背景

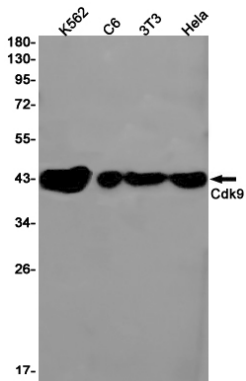
サイクリン依存性キナーゼ（CDK）は、サイクリンとの結合と T ループドメイン内の保存されたスレオニンのリン酸化によって部分

的に活性化されます。サイクリン依存性キナーゼペア (CDK9/サイクリン-T) 複合体のメンバーであり、正の転写伸長因子 b (P-TEFb) と呼ばれ、RNA ポリメラーゼ II (RNAP II) の大サブユニットの CTD (C 末端ドメイン)、SUPT5H、および RDBP をリン酸化することで、不完全伸長から産生伸長への移行を促進します。

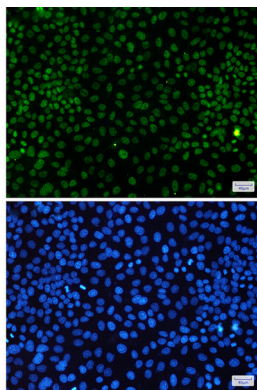
研究分野

細胞生物学

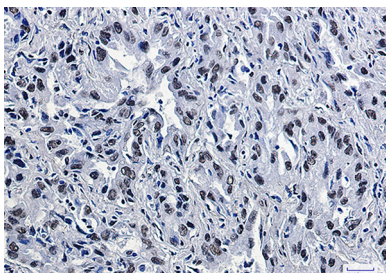
画像データ



CDK9 抗体を使用した K562、C6、3T3、HeLa 溶解物中の Cdk9 のウエスタン ブロット 分析。



Cdk9 抗体と DAPI (青) を用いた HeLa 中の Cdk9 (緑) の免疫細胞化学分析



Cdk9 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト肺癌の免疫組織化学分析。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用した。